

イネ科 カゼクサ属

コスズメガヤ (小雀茅)

Eragrostis minor Host

自生環境

道ばた、畑地、荒れ地 など

原産地

ユーラシア大陸

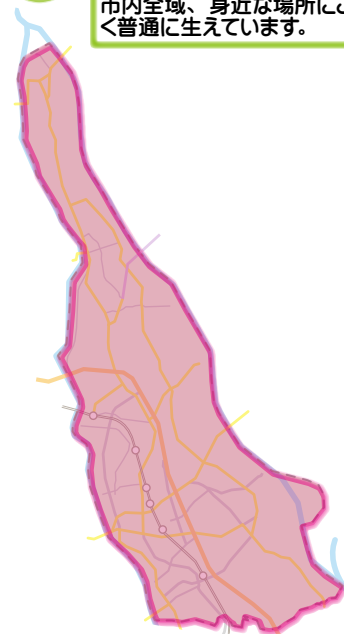
予想される被害



繁殖力・環境適応力とともにとっても強い
ため、地域の生態系への影響が心配されます。
また風媒花なので、花粉を空中に撒き散らし、イネ科花粉症の原因になります。

市内の分布状況

市内全域、身近な場所にごく普通に生えています。

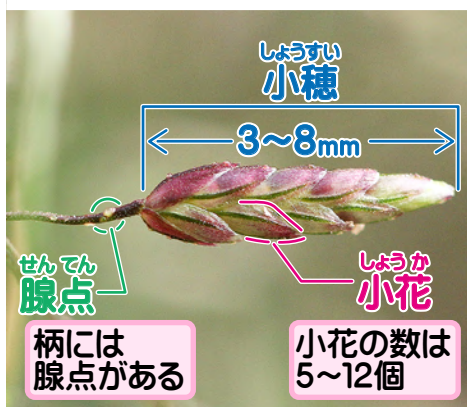


特徴

- ☆ ほぼ世界じゅうに広がる1年草で、国内には明治時代にユーラシア大陸より渡来したと考えられています。とても丈夫で踏まれ強く、種子繁殖力の強いとてもタフな草です。環境を問わずいたるところに生えていますが、特に道路わきのアスファルトのすき間や、砂利を敷いた駐車場の隅などの乾燥地を好みます。
- ☆ 初夏から秋にかけ、茎の先に円錐形の穂をつけます。ひとつひとつの小穂は長さ3～8mmほどで平たいかたちをしています。小花の数は5～12個ほどです。
- ☆ 花の穂の軸をルーペで見ると、腺点と呼ばれる匂いを出す点があります。ぷんぷんと匂ってくるほどではありませんが、草むしりでコスズメガヤをたくさん抜いた後に手を嗅ぐと、独特の匂いを感じられます。

枯れるとドライフラワーに

コスズメガヤは花が終わって種を落とした後も、穂のかたちがそのまま保たれ、白く乾燥します。そのためドライフラワーとしてもとても見ごたえがあります。イネ科の仲間はカサカサした質感のものが多いのですが、枯れるとボロボロと脱落して、穂のかたちが失われてしまうものも少なくありません。そのため、ドライフラワーの素材として使える種類は意外に限られるものです。



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBJegnWATWd-UZsNzCA>

